

彙 報

第 51 回日本語学会大会

広島大学において昭和 39 年 11 月 14 日公開講演会、11 月 15 日研究発表会を開催。公開講演会の講演題目および講演者は次の通り。(研究発表会については本号 64~76 頁参照)

- | | |
|------------------|-------|
| 1) 富士谷成章の装説をめぐって | 土井忠生氏 |
| 2) 語学教育における新しい傾向 | 川本茂雄氏 |

昭和 39 年度第 4 回委員会

日 時: 昭和 39 年 11 月 14 日 12:00~14:00

場 所: 広島大学文学部

出席者: () 内は委任状受託数 (委員総数 36 名)

泉井久之助 (1), 岩井隆盛, 亀井 孝, 川本茂雄, 北村 甫, 小林英夫,
関本至 (1), 服部四郎 (10), 松平千秋, 吉町義雄。 白紙委任状 2。

議決事項:

1. 第 51 回大会における委員の役割・分担を決定した。
2. 昭和 40 年度の本会大会について
 1. 春季大会(第 52 回)は昭和 40 年 5 月 15 (土), 16 (日)両日, 早稲田大学において開催する。
 2. 春季大会の大会運営委員長を小林英夫氏に委嘱する。
 3. 秋季大会(第 53 回)は第 1 候補地北海道大学の池上委員から辞退の申出があったのでこれを了承し, 長谷川委員の諒解の下に東北大学において開催することになった。
3. 第 8 回国際人類学・民族学会議 (1968) について日本学術会議人類学・民族学研究連絡委員会より同委員会に上記国際会議の準備委員会を設置するにつき, 本会より委員 2 名の推薦を求めてきたので, 泉井久之助, 服部四郎の両氏を推薦することになった。
4. 九学会連合の昭和 39 年度共同課題の一つが「変化(特に明治以降の)」と決定した旨委員長より報告があり, 昭和 40 年 5 月の連合大会における本会からの発表者を松村明氏におねがいすることになった。(同氏は承諾された。)
5. 第 11 回太平洋学術会議 (1966) 組織委員会において討議された Symposium および Division Session の実施案について委員長より経過報告があり, この案に対する本会の態度については本会からの組織委員の方々に一任することになった。

6. 『言語研究』絶版分のリプリントについて、ジョンソン・リプリント社の契約書案を検討し、まず、第1号より第32号までのリプリントを許可・契約することになった。

昭和39年度第5回委員会

日 時：昭和40年2月6日 15:00~17:30

場 所：東大正門前ポルト

出席者：（ ）内は委任状受託数（委員総数36名）

亀井 孝，川本茂雄，北村 甫，高津春繁(5)，柴田 武，徳永康元(1)，野上素一，服部四郎(8)，前田護郎，三根谷徹，村山七郎，山本謙吾。
白紙委任状1。

議決事項：

1. 昭和40年度春季大会（第52回，於早稲田大学）に関する件。
 - .1. 公開講演会の講演者として浅井恵倫，泉井久之助の両氏におねがいする。
 - .2. 委員会は公開講演会開会前当日正午より，会員総会は公開講演会終了後，懇親会の前に行なう。
2. 昭和40・41年度委員の選挙に関する件。
 - .1. 新委員の候補者を選定した。
 - .2. 委員選挙の投票締切りは3月10日とし，3月17日午前11時より開票を行なう。
 - .3. 引続いて新委員による委員長，編集委員長の選挙を行う。投票締切りは4月1日とし，4月5日午後2時より新委員による昭和40年度第1回委員会を開いて，その席上開票を行う。
 - .4. 委員選挙の投票用紙など，必要な事項について審議，決定した。
3. 第11回太平洋学術会議(1966)の組織委員会における審議状況について三根谷委員より報告があり，了承した。

同会議は，昭和41年8月22日(月)より9月10日(土)まで，東京大学の各教室を会場として開催される。なお，第1週はSymposium，第2週はDivision Session，第3週はExcursionを，それぞれ行うことになった。

◇本会評議員・委員浅井恵倫氏は，東ニューギニア高山地帯のパプア族の言語調査を終えて昭和40年1月29日帰国された。

◇本会評議員・委員泉井久之助氏はロンドンにおけるインド洋・太平洋区域言語学的諸問題専門家会議等に出席のため昭和39年末羽田発，昭和40年1月末帰国された。